

# 日本水土総研 青森セミナー

## 農産物の輸出拡大／地域活性化

### シンポジウム

～ JA 全農あおもり  
笹森俊充りんご部長による講演 ～

参加  
無料

農業と農村は、国民に安定的な食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しています。しかしながら、過疎化・高齢化により集落機能や地域資源の維持が困難となっています。

このため、担い手への農地の集積、農業用水や施設の管理の合理化が推進されています。また、多面的機能支払の導入により地域共同の取組が実施されているほか、6次産業化など、雇用・所得の創出や都市農村交流等の活性化につながる動きも見られます。

こうした中、(一財)日本水土総合研究所は昭和53年の設立以来今年で40周年を迎え、シンクタンクとして農業農村整備及び農村振興に関する政策的及び技術的課題を解決するための調査研究を行い、その成果を各方面に発信しています。

この度その一環として、「農産物の輸出拡大／地域活性化シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

例年農政局所在の都市で開いていましたが、米やりんご、野菜などを算出する全国有数の農業県であり、100年以上のりんご輸出の歴史を有する青森県の県都青森市で開催することとしました。

青森県では、地域特性を生かし、主に津軽地方では米やりんご、県南地方では野菜や畜産業が盛んであり、特にりんご、にんにく、ながいも、ごぼうは全国一の生産量を誇るなど、全国有数の農業県です。また、県下広く、農林水産品の輸出拡大に積極的に取り組まれており、特に東南アジア向けへの輸出額は年々増加しています。

このような中、本セミナーでは、台湾・ベトナムなど東南アジアへの販路拡大・市場開拓に取り組んでおられる JA 全農あおもりの笹森俊充様から、「青森りんごの輸出状況と今後の展望」をテーマとしたご講演をいただきます。

また、当研究所からは、「農業法人の営農展開方向と農業基盤整備に対する要望に関する調査」と「農業農村整備事業等における UAV (ドローン) の活用方法の検討」について、日頃の研究成果の一端をご紹介します。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の青森県における地域農業の振興や農地・農業水利施設の改良・維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成30年 7月 4日 (水) 13:30～16:40  
(開場・受付 13:00～)

会場：青森国際ホテル(本館 2階・春秋の間)

〒030-0801 青森県青森市新町 1-6-18

TEL：017-722-4321

交通アクセス JR 青森駅より徒歩 5分

定員：120名 (定員となり次第締め切らせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	(一財)日本水土総合研究所 理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	青森りんごの輸出状況と今後の展望 JA全農あおもり りんご部 部長 笹森 俊充
14:30	質疑(15分)	
(14:45~15:00)		休 憩
15:00	当研究所紹介	
15:10	講 演 (40分)	農業法人の営農展開方向と農業基盤整備に対する要望に関する調査 (一財)日本水土総合研究所企画研究部 部長 富田 晋司
15:50	質疑(5分)	
15:55	講 演 (40分)	農業農村整備事業等におけるUAV(ドローン)の活用方法の検討 (一財)日本水土総合研究所調査研究部 主任研究員 小倉健一郎
16:35	質疑(5分)	

## セミナー会場

### 青森国際ホテル(本館2階 春秋の間)

〒030-0801 青森県青森市新町1-6-18  
TEL: 017-722-4321  
JR青森駅より徒歩5分



(google mapより)

## 講師の紹介

講師 笹森 俊充 (ささもり としみつ) 氏

JA全農あおもり りんご部 部長

昭和45年生まれ。平成元年に青森県経済連に入会後、りんご・野菜などの販売部門を歴任。ジェトロ主催のセミナーや研修会等で青森産のりんごの特徴や産地の取組み等について講演。平成29年から現職。

### 【略 歴】

昭和45年生まれ  
平成元年 青森県経済連入会  
平成21年 JA全農あおもり  
大阪青果販売事務所 所長  
平成24年 JA全農あおもり りんご課長  
平成29年 JA全農あおもり りんご部長

このまま切らずにFAX又はメールで送付してください

## 参加申込書

定員(120名)になり次第  
締め切りとさせていただきます。

所 属 等		参加者氏名	※CPD登録番号
住 所	〒		
電話番号			

※本セミナーは(公社)農業農村工学会 技術者継続教育機構(CPD)認定プログラムとして申請致します。

## 申 込 先

03-3502-1329 (FAX) または [kiichi-sasaki@jiid.or.jp](mailto:kiichi-sasaki@jiid.or.jp) (メール)

お問い合わせは、(一財)日本水土総合研究所 小倉、佐々木までお願いします(電話03-3502-1387)